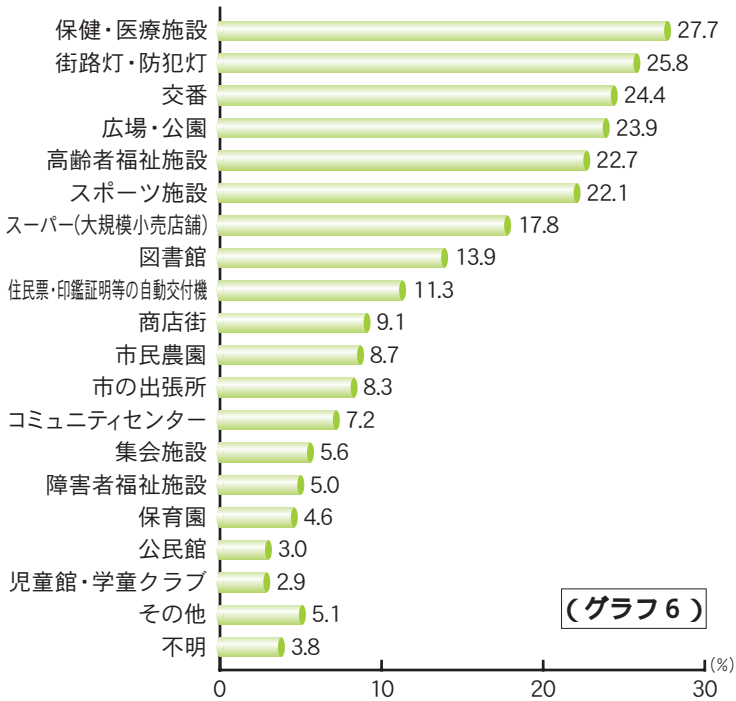
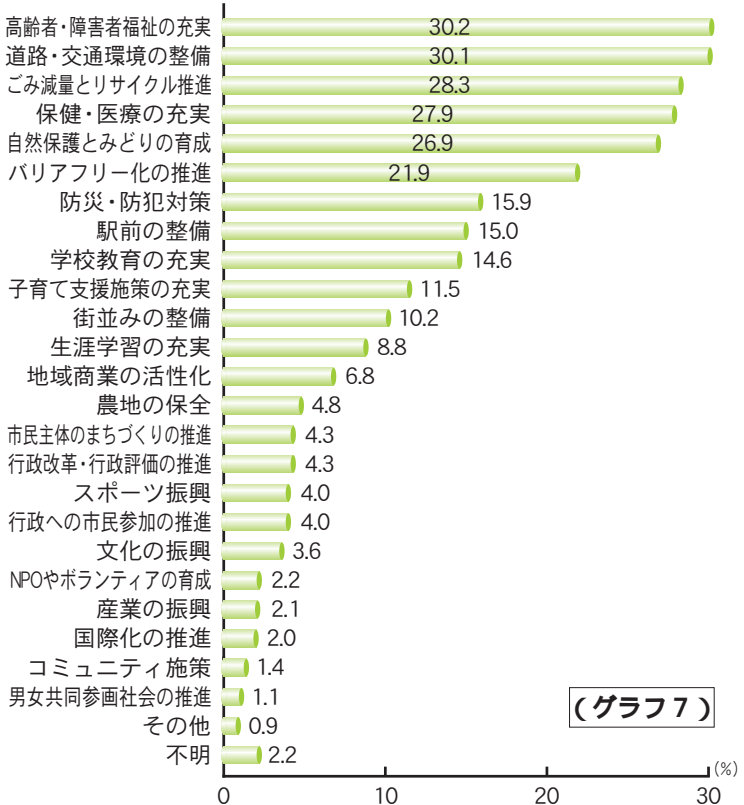


あなたがお住まいの地域に必要なもの



(グラフ6)

これからのまちづくり 重視すべき施策



(グラフ7)

まちの整備や環境対策について

駅の整備では「駅周辺の道路」「駐輪場」「エスカレーター」「エレベーター」への要望が強い。街並みを美しくするために必要な取り組み「電線等の地中化を促進し電柱を減らしていく」が44・4割、続いて「街路樹や公園のみどりを増やしていく」が40・3割、広場や公園などのオープンスペースを多く確保していく」が36・4割となっています。

避難場所や避難道路の整備」が42・8割、「救急医療体制の整備」が40・9割、「食料・飲料水や毛布など非常用物資の備蓄」が38・8割と高い率となっています。地球環境にやさしいまちづくりのために必要な取り組み「ごみを少なくし資源のリサイクルを進めていく」が57・3割、続いて「太陽光などの自然エネルギーの活用を促進していく」が42・7割となっています。



福祉のまちづくりについて

自然災害に備えるために必要な取り組み「水道や電気などのライフラインの強化」が43・5割、続いて「約半数が、福祉・ボランティア活動に参加することは望ましい」と考えている。

福祉・ボランティア活動に「参加することは望ましいことである」が48・3割、続いて「いずれ自分も援助を受けることになるので関心がある」が39・7割となっています。福祉サービスの利用料について「できるだけ利用料の負担は

低額のほうがよい」が57・1割、「適切な料金であれば支払うことは当然である」が56・6割（がほぼ同数となっています。ノーマライゼーション）の取り組みが必要なこと

「歩道や交通機関など外出しやすい環境を整備する」が61・4割、続いて「教育の充実」が44・9割、「総合的に相

子育てと子どもの権利について

談対応をしてくれる窓口を整備する」が44・1割となっています（ノーマライゼーション：障害者等が当たり前の生活ができるよう支援する社会福祉の考え方）。障害を持つ方などに負担と

生涯学習・スポーツ振興

「学習に関する情報の提供」が41・4割となっています。また、「今は持っていないが利用してみたい」も22・3割にのぼっています。情報化が進むことによる期待

調査の方法

西東京市内に居住する18歳以上の男女15,000人を住民基本台帳を基に無作為抽出
調査期間は平成13年11月22日～12月6日、郵送配布、郵送回収法で調査回収数5,767サンプル
回収率38.4%
回答者内訳は表のとおり

性別	配 布 回 収 構 成 比	配 布 回 収 構 成 比
女性	50.2%	48.3%
男性	49.8%	33.1%
不明	-	18.6%

年齢	配 布 回 収 構 成 比	配 布 回 収 構 成 比
10代	2.7%	1.8%
20代	18.7%	10.7%
30代	19.9%	18.0%
40代	14.9%	14.3%
50代	16.6%	16.6%
60代	14.7%	19.5%
70代以上	12.5%	17.4%
不明	-	1.5%

情報化の推進について

「パソコン」「携帯電話」はそれぞれ約半数が所有し、約6割の市民がインターネットをしている。インターネットにより情報を得る環境「パソコン」が51・2割、

これからのまちづくりについて

医療や福祉に関するニーズが強く、市基本方向「福祉が充実した安心して暮らせるまち」が52・4割、続いて「医療機関や保健サービスが充実しているまち」が41割、「子どもたちを育てる環境と教育環境のよいまち」

総計画策定審議会について

総計画策定審議会には、現在、市長から総計画策定審議会に、西東京市基本構想案、基本計画案の策定について諮問しているところ。総計画策定審議会に際しては、今回の調査結果をはじめ、今後開催が予定されているワークショップ等での市民の皆さんの意見等も踏まえながら検討され、平成14年度内に中間のとりまとめがされる予定です。市民ワークショップ等の詳しい内容については、あらためて市報等でお知らせします。